

有機倍増計画

認定事務局

有機農産物でおもてなし

師匠の夢

耕 おもて・な・し。おもてなし。
いやあ、このシーンは何度見てもいいねえ。

米 まあ、よだれを垂らしちゃって、みつともないね。
耕 おっと、夢だったか。それにしても7年後が楽しみだなッシー。

一 師匠、何がそんなに楽しみなんですか？

耕 7年後の東京オリンピックで、世界から来日したお客さんたちを、有機農産物や自然農法産物を、有機農産物や自然農法産物で倍返しのおもてなしをするのが今の俺の夢なのさ！

M 流行語にまみれすぎているのはどうかと思いますが、それはとてもいい夢ですね。

耕 選手村では世界中のいろんな料理が振る舞われるだろ。そこに有機食材を100%使ったブースを出そう！って決めたのさ。その準備を始めるなら今でしょ！！

米 まさか、それでひと儲けしようなんて考えているわけじゃないでしょうね。

耕 滅相もない。俺はただ純粋に日本の素晴らしい食材でみんな喜んでもらいたいと思っただけなんだよ。そして、日本はこんなに素晴らしい農業がおこなわれているという事をこの絶好の機会にアピールしたいのさ。有機農業は世界中どこにもあるけど、俺たちのやっているこの自然農法を是非世界中の人たちに味わってもらい、知ってほしいなッシー！

耕 じゃあ、私も頑張りますよ、師匠！！でも7年後に、そのフナッシーの着るみを着るのだけはやめた方がいいと思いますよ。

有機農業推進の基本方針

一 でも、今の有機農業の普及状況では日本のよさとしてアピールするのはちょっと難しいですね。

耕 何をケツの穴の小さいことを言ってるんだい！まだ7年もあるんだ。10倍返しも夢じゃない。M 相変わらず超ポジティブというか、能天気というか、うらやましい考え方ですね。

耕 そういえば、先日農水省は有機農業の推進に関する基本方針についてパブリックコメントを募

登場人物



M検査員 (M)

登録認定機関の検査員。耕吉のような危なっかしい認定農家を捨て置かず、コンサルタントすれすれの指導をする。



結城則子 (則)

一の妻。夫を信じるあまり、記録確認がおろそかなりがちな危ない格付担当者。



結城一 (一)

耕吉を有機栽培の師匠と仰ぐ新規就農者。米倉家とグループを組んで有機JAS認定を受けている(生産行程管理担当者)。新婚ほやほや。認定もほやほや。



米倉米子 (米)

耕吉の妻(格付責任者)。夫の尻をたたきながら記録を作らせている。有機JASをよく理解している。



米倉耕吉 (耕)

有機JAS認定を取得してお米を生産している農家(生産行程管理責任者)。栽培の腕は確かだが、有機JASの理解度は危なっかしい。晩酌が生きがい。



集めましたよね。

M ええ、広く国民から意見・情報を募集した上で方針を決めようという事ですね。この基本方針は有機農業の推進に関する法律

ができた翌年の平成19年におおむね5年間を対象に作られたんですが、今回、次のステージに進むために新たな方針案を作り、これに対して意見を募集したんです。

米 私たち国民一人一人に意見を述べる権利と責任があるのね。

M そうですね。国のやり方を批判するだけでは何も変わりませんから、こういう機会に一人一人が考えてみることはとても大切なことですね。

則 それで、国はどんな方針を考えているんですか？

M 具体的な数値目標は、現在0.4%程度と見込まれる我が国の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を、おおむね平成30年度までに倍増（1%）させるとしています（注1）。

米 それってどこかで聞いたような気がするけど・・・

則 確か今の推進方策も平成19年度の

50%増を目標にしていたわよね？

M よく覚えていますね、お二人とも。米 あまりにも現実的でない目標だったからね。お国も懲りないね。

M で、その中身ですが、詳細は農水省のホームページを見てもらうとして、推進に関する基本的な事項は、

① 農業者が有機農業に容易に従事することができるようにする（技術体系の確立、各種支援施策の充実、就農相談、研修の受け入れ等）

② 農業関係者が有機農産物の生産、流通、販売に積極的に取り組めるようにする（実需者のニーズに即した広域流通・地産地消の推進）

③ 消費者が容易に有機農産物を手に入れるようにする（生産、流通、販売、消費に関する情報の受発信の支援）

④ 有機農業関係者と消費者との連携の促進

⑤ 農業関係者の自主性の尊重などをあげています。

耕 うゝむ、国の考えることは難しくって俺様にはよくわからない

が、お題目を並べただけで推進

が進むほど実際は簡単じゃないよな。

M 政策も大事ですが、やはり、消費者の理解と生産技術の確立、しっかりとした販売先の確保、そして何よりも生産者の有機農業への価値観・使命感が高まる

ことが大切だと私は思いますね。耕 そうなんだよ。俺の尊敬する自然農法の大先輩の口癖に「村人の口を預かる者にして安心第一心せよかし」というのがあってね、これが俺の座右の銘になっているのさ。

則 食べ物を生産する我々が最も忘れてはいけないことですよね。先日の農薬混入事件なんて考えられないですよな。

耕 まったくだ。口（食）を預かる者としての責任感とプライドを持ってない奴には食に関わってほしくないよな。

世界の有機農業

一 ところで、有機農業というのは世界ではどのくらい普及しているんですか？

M 西尾道徳さんの「環境保全型農業レポート（注2）」によ

ると、世界の有機食品の販売額は、2008年に509億USD（約5兆3000億円）、2008年の年間平均為替レート1ドル＝104.23円での換算額）でした（イギリスの会社のデータ）。1999年が152億ドルだったので、この間で3倍以上増加したんですね。

509億ドルのうち、北アメリカ（アメリカとカナダ）が230億ドル（同2.4兆円）、ヨーロッパが260億ドル（2.7兆円）と、北アメリカとヨーロッパで96%を占めています。アメリカでは2008年から有機農業転換支援条項を新設し、有機農業に転換する農業者に対して年間2万ドル、1件当たり8万ドルを上限に6年間、個人または法人に支給できるようにしているそうです。

一 アメリカはずいぶんと有

注1：パブリックコメント「有機農業の推進に関する基本的な方針（案）」農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/pdf/hosin_an.pdf
 注2：「西尾道徳の環境保全型農業レポート No.172 世界の有機農業の現状（2）」<http://lib.ruralnet.or.jp/nisio/?p=1454>

機に力を入れていきますね。

EUでの食品販売総額に占める有機食品の割合をみると、デンマーク6・7%、オーストリア5・3%、スイス4・9%、ドイツ3・4%となっています。また有機農地の面積ではオーストラリアとニュージーランドの2か国で、なんと全世界の約3分の1を占めているんです(表1)。一方、有機食品の国内販売額は世界全体の販売額の1%未満にすぎないんです。これはオセアニアの有機農地の多くが牧草地だからなんです。

則 海外での有機農地は畜産関係が多いんですね。

M そうですね。日本を含めてアジアは有機農地の面積が小さく、生産者の一人当たりの面積も小さいんですが(表2)、これは他の地域のように放牧よりも耕種作物を主体とした人手のかかる有機栽培を行っているためだと西尾さんは解説しています。中南米はもっぱら輸出用に有機農産物を生産しており、国内需要はまだわずかにすぎないそうです。米地域によって有機農業の事情も

表1 2008年における有機農地面積の地域別分布 (Willer and Kilcher (Eds)2010の修正版を改変して作表)

		アフリカ	アジア	ヨーロッパ	北アメリカ	中央・南アメリカ	オセアニア	合計
面積割合%	耕種作物	11.2	39.0	39.2	50.2	2.3	3.0	18.4
	永年作物	40.7	4.5	9.1	2.5	8.0	0.0	5.6
	永年牧草	5.2	18.3	46.8	41.7	61.9	96.0	63.2
	他作物	2.1	0.0	4.1	2.7	0.3	0.0	1.3
	農地・作物タイプ不明	40.7	38.2	0.7	2.9	27.4	0.9	11.6
合計有機農地面積 (ha)		880,898	3,293,945	8,264,324	2,577,505	8,068,049	12,140,107	35,224,829
(合計面積に対する%)		(2.5)	(9.4)	(23.5)	(7.3)	(22.9)	(34.5)	(100.0)

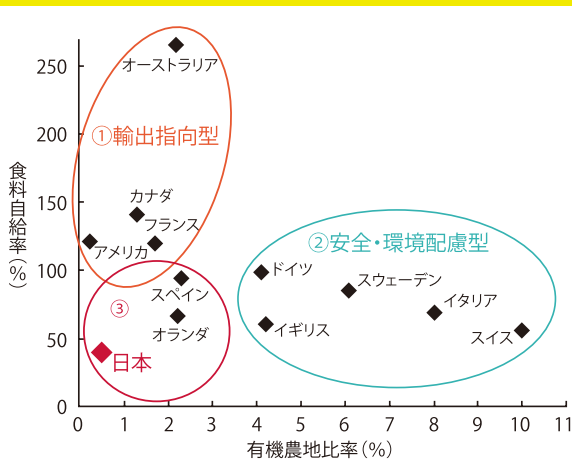
だいたい違うものなのね。

M やや古いデータですが、食料自給率と有機農地面積比率のデータから、世界の有機農業を3つに分類したレポート(注3)があります。

表2 国別の有機農地面積とその全農地面積に占める割合ならびに有機生産者数 (Willer and Kilcher (Eds)2010の修正版から抜粋・合成変して作表)

	有機農地面積 (ha)	同左の全農地に占める%	有機生産者 (人)	面積 / 生産者 (ha/人)
オーストラリア	12,023,135 ①	2.83	1,438	8,361
アルゼンチン	4,007,027 ②	3.00	1,678	2,388
アメリカ	1,949,018 ③	0.60	12,941	151
中国	1,853,000 ④	0.34	-	-
ブラジル	1,765,793 ⑤	0.67	7,250	244
スペイン	1,129,844 ⑥	4.54	21,291	53
インド	1,018,470 ⑦	0.57	340,000	3
イタリア	1,002,414 ⑧	7.87 ⑩	44,371	23
ウルグアイ	930,965 ⑨	6.34 ⑮	630	1,478
ドイツ	907,786 ⑩	5.35 ⑳	19,813	46
イギリス	737,631 ⑪	4.57	5,383	137
カナダ	628,556 ⑫	0.93	3,903	161
フランス	580,956 ⑬	2.12	13,298	44
フォークランド諸島	414,474 ⑭	36.88 ①	10	41,447
オーストリア	382,949 ⑮	15.87 ③	19,961	19
チェコ	341,632 ⑯	8.04 ⑨	1,946	176
スウェーデン	336,439 ⑰	10.79 ⑤	3,686	91
メキシコ	332,485 ⑱	2.42	128,862	3
ギリシャ	317,824 ⑲	3.84	24,057	13
ポーランド	313,944 ⑳	2.03	14,888	21
ポルトガル	229,717	6.61 ⑬	1,949	118
ラトビア	161,625	9.11 ⑧	4,203	38
フィンランド	150,374	6.56 ⑭	3,991	38
デンマーク	150,104	5.64 ⑲	2,753	55
スロバキア	140,755	7.27 ⑪	350	402
ドミニカ	123,089	6.33 ⑯	14,992	8
スイス	117,286	11.08 ④	6,111	19
エストニア	87,346	9.63 ⑦	1,259	69
スロベニア	29,838	6.10 ⑱	2,067	14
チモール・レステ	26,101	6.73 ⑫	-	-
バヌアツ	8,996	6.12 ⑰	-	-
フランス領ギアナ	2,385	10.51 ⑥	17	140
リヒテンシュタイン	1,053	29.82 ②	37	28
タイ	16,715	0.08	3,545	4.7
韓国	12,033	0.65	8,460	1.4
日本	9,092	0.23	3,380	2.7
台湾	2,356	-	978	2.4

図1 食糧自給率と有機農地比率の国際比較



農林水産省 (2003)「食料需給表」および Willer and Yusefi (2004) をもとに富士通総研作成
 ※日本の有機農地比率は0.5%未満であるが、便宜的に0.5%として図示している

注3:「研究レポート 環境保全型農業の推進に向けて」富士通総研 経済研究所 生田孝史、2005年
<http://jp.fujitsu.com/group/fri/downloads/report/research/2005/report220.pdf>
 注4:「西尾道徳の環境保全型農業レポート No.240 アメリカ小児科学会の有機食品に対する見解」
<http://lib.ruralnet.or.jp/nisio/?p=2924>



①「輸出志向型」有機農地比率は低い、食料自給率が100%を超えるオーストラリア、カナダ、フランス、アメリカ、②「安全・環境配慮型」食料自給率は100%以下だが有機農地比率の高いスイス、イタリア、スウェーデン、イギリス、ドイツ、③食料自給率も有機農地比率もあまり高くないスペイン、オランダ、日本の3つです(図1)。

耕 アメリカの連中は広大な土地を強みにして稼いでやがるな。

一 でも農地の劣化、荒廃も進んでいるようですね。

有機農産物は 農薬の暴露を減らす

M 西尾さんはこんな興味深いレポートもしています。それはアメリカの小児科学会の有機食品に対する見解(注4)なんです。が、ルーさん達の実験で、小学生23人に対して、1〜3日目(第1段階)に通常(慣行)の食事を食べてもらい、4〜8日目(第2段階)には有機食品の食事を、9〜15日目(第3段階)は再び普通の食事に戻すという実験を

行いました。そうして尿を調べたら、(先日の事件で有名になった)マラチオンの代謝産物であるマラチオンジカルボン酸が第1段階で平均濃度2.9 ug/Lと最大濃度96.5 ug/Lだったが、第2段階では平均0.3と最大7.4に下がり、第3段階では平均4.4と最大263.1と再び上昇しました。クロルピホスの代謝産物でも同様の結果が出たそうです。

則 そんなにスッキリはつきり変わるなんてビックリです！ルーさん達の研究、すごいですー！！

耕 ユー達もユーキをベリーチョイスしてヘルシーになろうぜ！

米 (ルー)違いね。やっぱりこの人は危険だわ。東京五輪の時はお酒を飲ませて家に閉じ込めておかないと)

M この学会では、有機農産物と慣行とで栄養成分等が大きく異なるとの証拠はないとしています。が、農薬の暴露低減についてはかなり肯定的ですね。

耕 俺たちが行っている自然農法の提唱者岡田茂吉は、健康な食べ物の中には「靈氣」というものが

たくさんあるから、それをたくさん食べると健康になる、と説いているんだ。

米 靈氣はまだ科学的に立証されていないけれど、私の体は確かに感じているわよ。

則 私も長い間外食が続くと体がつらくなるんですけど、家に帰って自分が作った野菜やお米を頂くと心も体も本当に甦るんです。

一 どんな食べ物に靈氣が多いんですか？

M 新鮮なもの、旬なもの、そしてやはり化学肥料や化学合成農薬に頼らずに健康に成長したものに多いのだと思いますよ。

米 そしてやっぱり食べておいしいもの、元気になるものには靈氣が多いと思うわ。

耕 自然農法で栽培すると慣行栽培よりも収量が低くなることもあるけど、靈氣の量では負けないと俺は思っているよ。

米 いくら化学肥料や農薬を使わずに栽培していても、できた農産物の靈氣が少なかつたら自然農法とは言えないのかもしれないわね。

M 自然農法や有機農業と言っても、栽培方法や肥料の質などによつ

て、できた農産物の質にかなり差があると言われています。そのため有機農産物と慣行農産物の成分を比較しても差が現れないという多くの研究の結果になつていようです。栽培方法の看板だけで判断するのではなく、やはり自分で食べて良し悪しを見極めることが必要だと思いますね。

耕 栽培方法や技術ももちろん大事だが、どんな想いで作っているかがもっと重要なよ。さっき言った「安全第一」には食べる人を健康にしたい、幸福にしたいという篤い想いと農家としての究極の使命感があると思うんだな。

一 それが自然農法なんです、師匠！

耕 そうさ。その自然農法がみんなのものになり、そして東京五輪でレジエンド葛西が今度こそ金メダルをとることが俺の夢なのよ。

米 私は絶対羽生君にもう一度金メダルを取ってほしいわ！そしてあなたには農業の金メダルを！！

M 一則・・・(岩堀 寿)